

2学期開始に向けてコロナ感染予防の徹底

新型コロナウイルス感染症の流行第5波は、感染性がより高い「デルタ株」が主流となっており、特に子どもの感染が増加傾向にあります。市内小中学校においても家庭内・学校内感染で陽性となったり、学校PCR検査を複数回行う学校もあります。

2学期開始に向け、あらためて子ども達へ感染を予防するために自分ができること、またみんなが気をつけていくことなどを学級で確認しながらお話をお願いします。

1 感染を予防するためにできること

(1) マスク着用

◎マスク熱中症も心配なので、周りに人がいないのを確認して苦しいときは少しの間マスクをはずしてもよいこと（がまんしない）

(2) 登校前の健康観察

◎家庭での検温、健康観察シートの記入を忘れない

(3) 石けんでの手洗い

◎登校後、石けんで手を洗ってから教室へ入る

(休み時間ごと、給食前、清掃後、トイレ後 など)

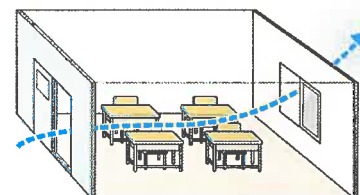
*手をふくタオルやハンカチを持ってくる

(4) 校舎内・教室の換気

これまでは休み時間ごとに窓を開け空気の流れをしていますが、今後は常時授業中も出入口の戸や窓を開けて換気をする

*熱中症予防も気にしながら全開でなくてもいいので、扇風機を回しながら空気の流れをつくる

対角線に空気の流れをつくる



(5) 黙食

向かい合わず前を向いて食べる。食事中は会話をしない。食後はすぐマスクをつける。

(6) 密を避ける

友だちとの距離感（最低でも1m～2m以上離れる）ソーシャルディスタンス
休み時間の遊び方、大声をださない等

(7) プール授業での更衣室の消毒（3年生以上）

着替えた後、自分が使用したロッカーの消毒。ペーパータオルに消毒液をしみ込ませて拭く。ペーパータオルはゴミ箱へ捨て、更衣室を出る前に手指の消毒をする。

(8) ウイルスをはねのける“からだづくり”

○免疫力を高めるために、早寝・早起き・朝ごはんの規則正しい生活リズム

2 こんな時は無理をせずお休みします

(1) からだがだるいとき、熱があるとき、かぜ症状（鼻水や咳、のどが痛いなど）のとき
*熱がなくてもかぜ症状のあるときは、休んでもいいことを児童が理解しておく

(2) 自分は元気でも、家族（両親や兄弟、その他同居している人など）が発熱やかぜ症状のあるときは学校はお休みします。 *必ず欠席の連絡をしてください